



2022年12月28日

各位

会社名 株式会社スプリックス  
代表者名 代表取締役社長 常石 博之  
(コード番号: 7030 東証プライム)  
問合せ先 執行役員管理部長 設楽 征史  
(TEL. 03-6912-7058)

## 上場維持基準の適合に向けた計画書に基づく進捗状況について

当社は、2021年11月12日に「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」を提出し、その内容について開示しております。2022年9月30日時点における計画の進捗状況等について、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の2022年9月30日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況はその推移を含め、以下の通りとなっております。「流通株式時価総額」については、64億円と基準を充たしておりません。当社は「流通株式時価総額」に関し、2025年9月期までに上場維持基準を充たすために各種取り組みを進めて参ります。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の適合状況 及び その推移	当社の状況 (2021年6月30日時点)	4,456人	64,601単位	73億円	37.3%
	2022年9月30日	3,760人	63,251単位	64億円	36.1%
上場維持基準		800人	20,000単位	100億円	35.0%
計画書に記載の項目				○	

※当社の適合状況は東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況表等をもとに算出を行ったものです。

#### 2. 上場維持基準の適合に向けた取組基本方針、取組の実施状況及び評価

##### (1) 基本方針

当社は、持続的な成長と中期的な企業価値の向上に資する施策を推進する事により、プライム市場上場維持基準への適合を目指して参ります。また、経営環境の変化に応じて柔軟に対応できる組織体系を整備するとともに、リスク管理体制の強化やコンプライアンスの徹底等を進め、コーポレートガバナンスの一層の充実を図って参ります。

## (2) 取組の実施状況及び評価

当社は、前回開示でお示しした中期経営計画に対し、別紙決算説明資料「FY2025に向けた事業戦略」記載にて、2025年9月期までの中期KPI目標を売上高目標400億円（前回開示比不変）、EBITDA目標75億円（同比15億円増）としており、その進捗状況については当初計画通り、2022年9月期末時点で売上高293億円、EBITDA39億円を達成している状況であります。

また、前回開示でお示しした各戦略に大きな変更は無く、「戦略(1): 個別指導で業界シェアNo. 1に」については2022年9月期森塾生徒数47,728人（前回開示比3,097人増）と計画通り堅調に増加している事に加え、「戦略(2):分散されたNo. 1ブランドポートフォリオ」については「そら塾」がオンライン専門個別指導塾生徒数でNo. 1\*、「プログラミング能力検定」が受験者数でNo. 1\*となる等、新たに2事業がNo. 1ブランドを獲得し、着実にNo. 1ブランドポートフォリオを拡大しております。

なお「戦略(3):積極的なR&D投資」については、別紙決算説明資料内「FY2025に向けた事業戦略」でお示しの通り、基礎学力事業の展開を前倒ししており、計画の達成に向け更なる事業投資を積極的に実施して参ります。

現状は投資コスト先行等により流通時価総額の基準を充たしておりませんが、上述の通り2021年11月12日に開示した「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」については予定通りの進捗となっており、計画通り2025年迄の基準適合を見込むものであります。

## (3) 上場維持基準の適合に向けた今後の課題と取り組み内容

当社は、企業価値向上に向けた各種施策を引き続き進めていくことが重要であると判断しており、一定の株主数や流通株式数等を確保しながらも「流通株式時価総額」の2025年までの基準到達に向け鋭意取り組んで参ります。

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に掛かる本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

\*日本マーケティングリサーチ機構調べ